

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	大阪公立大学工業高等専門学校
設置者名	公立大学法人大阪

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部等 共通 科目	専門 科目	合計		
本科（4年） 総合工学 システム学科	エネルギー機械コース		－	5	8	13	7	
	プロダクトデザインコース				12	17	7	
	エレクトロニクスコース				8	13	7	
	知能情報コース				4	9	7	
本科（5年） 総合工学 システム学科	エネルギー機械コース		－	16	16	32	7	
	プロダクトデザインコース				14	30	7	
	エレクトロニクスコース				11	27	7	
	知能情報コース				14	30	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

・WEBサイトで公表 https://www.ct.omu.ac.jp/assets/jitsumu_26.pdf https://www.ct.omu.ac.jp/studies/classes/syllabus-reg/ ・シラバスの【授業概要】もしくは【授業の属性】に実務経験との関係を記載。

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由) 該当なし

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大阪公立大学工業高等専門学校
設置者名	公立大学法人大阪

1. 理事（役員）名簿の公表方法

公立大学法人大阪のWEBサイトで公表 https://www.upc-osaka.ac.jp/about/directors/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	(前職) 株式会社大阪国際会議場 代表取締役社長	2023年4月 ～ 2027年3月	総理
常勤	(前職) 大阪府 政策企画部長	2026年4月 ～ 2027年3月	総務、人事、企画、 広報、コンプライア ンス
常勤	(前職) 大阪市 政策企画室長	2025年4月 ～ 2027年3月	財務、施設、渉外、 高専、ダイバーシテ ィ
非常勤	(前職) パナソニックホールデ ィングス株式会社取締 役	2025年4月 ～ 2027年3月	経営全般
非常勤	(現職) 株式会社インターアク ト・ジャパン代表取締 役	2025年4月 ～ 2027年3月	経営全般
非常勤	(現職) 株式会社国際社会経済 研究所理事長	2025年4月 ～ 2027年3月	経営全般
非常勤	(現職) フジモトゆめグループ 代表	2025年4月 ～ 2027年3月	経営全般
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪公立大学工業高等専門学校
設置者名	公立大学法人大阪

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) シラバスは達成目標区分、授業概要、授業の進め方、科目の達成目標、授業の内容、授業外の学習、履修上の注意点、成績評価の方法などから構成している。シラバスは年度当初の学年ガイダンスにおいて配付し、Web サイトでも公開している。また、1 回目の授業時に科目のガイダンスを実施している。また学修単位科目における時間外学習指示書も併せて Web サイトで公開している。	
授業計画書の公表方法	・WEB サイトで公表 https://www.ct.omu.ac.jp/studies/classes/syllabus-reg/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 「大阪公立大学工業高等専門学校成績評価・学年の課程修了及び卒業の認定等に関する規程（以下、「規程」とする）」を定め、各授業科目の履修並びに単位取得の認定を行っている。 規程第 8 条において、総授業時間数の 3 分の 2 以上の出席を有する科目について成績評価を行うことを定めている。各科目担当教員が科目の特性に応じて「成績評価の方法」を定め、シラバスに記載している。各教員は、この「成績評価の方法」に沿って成績を 100 点法によって評価している。 規程第 12 条において、科目の成績評価が 100 点法による 60 点以上の者について、単位取得を認定している。また、第 9 条第 3 項により、「合格・不合格」の評語をもって評価された科目については、「合格」と評価された者について単位取得を認定している。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 「大阪公立大学工業高等専門学校成績評価及び卒業の認定等に関する規程」第5条及び第6条に成績評価は試験の成績および平常の成績(課題等)を総合して100点法により担当教員が評価すると定めている。また、表記は1～4年次は秀、優、良、可、不可の5つの評語で、5年次は優、良、可、不可の4つの評語で表記することになっている。 学生が主体的かつ学習効果を上げる事を目的として、2019～2025年度の学年末成績を用いた本科GPAを計算し、GPAの値とその分布を本校Webサイトで公表している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	・WEBサイトで公表 https://www.ct.omu.ac.jp/studies/gradeevaluation/gpa/index.html
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本科では、教育の目的に沿った学生を卒業させるための方針として、5つの項目からなる卒業認定方針(ディプロマ・ポリシー)と「大阪公立大学工業高等専門学校成績評価・学年の課程修了及び卒業の認定等に関する規程」を策定し、ホームページなどで公表している。具体的には、「大阪公立大学工業高等専門学校成績評価・学年の課程修了及び卒業の認定等に関する規程」第23条に基づき、卒業要件をすべて満たした学生について全課程の修了を認め、同第22条により校長が卒業を認定する。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.ct.omu.ac.jp/about/outline/policy/ https://www.ct.omu.ac.jp/opuct/policy/index.html

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	大阪公立大学工業高等専門学校
設置者名	公立大学法人大阪

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.upc-osaka.ac.jp/information/upco_info/financial/index.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.upc-osaka.ac.jp/information/upco_info/financial/index.html
財産目録	—
事業報告書	https://www.upc-osaka.ac.jp/information/upco_info/financial/index.html
監事による監査報告(書)	https://www.upc-osaka.ac.jp/information/upco_info/financial/index.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:— 対象年度:—)
公表方法:—
中長期計画(名称:公立大学法人大阪第2期中期計画 対象年度:2025年度～2030年度)
公表方法: https://www.upc-osaka.ac.jp/about/evaluation/

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: Web サイトで公開(直近は、令和4年度) https://www.ct.omu.ac.jp/studies/efforts/self-assessment/
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

—

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 総合工学システム学科
教育研究上の目的（公表方法：Web サイトで公開） https://www.ct.omu.ac.jp/about/outline/aims/
（概要） 大阪公立大学工業高等専門学校は、ものづくりの街大阪において、深く専門の学芸を教授し、創造力と高い倫理観のある実践的技術者を養成することを目的とし、その教育と研究の機能を活かして、地域及び産業の発展に寄与することを使命とする。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：Web サイトで公開） https://www.ct.omu.ac.jp/about/outline/policy/ https://www.ct.omu.ac.jp/opuct/policy/index.html
（概要） 本校は、その教育目標と養成する人材像のもと、機械系と電子情報系の高い専門知識を身につけ、かつ地域と社会からの要請と自分がなすべき役割を認識し、自分と社会のより良いあり方を探求できる技術者を育成します。そのため、以下に示す能力を修得し、規定の単位を修得した学生に対して卒業を認定する。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：Web サイトで公開） https://www.ct.omu.ac.jp/about/outline/policy/ https://www.ct.omu.ac.jp/opuct/policy/index.html
（概要） 本校は卒業認定方針（ディプロマ・ポリシー）で示された「総合工学システム学科において卒業の認定を受ける学生が修得すべき能力」DP-A～DP-E の修得を達成するため、総合工学システム学科共通の教育課程と 2 年次以降で展開する 4 つの基盤コースの教育課程を編成し、実施している。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：Web サイトで公開） https://www.ct.omu.ac.jp/about/outline/policy/ https://www.ct.omu.ac.jp/opuct/policy/index.html
（概要） 求める人材像として（1）興味・関心、（2）資質・性格、（3）能力の 3 項目を定め、「小論文と面接による特別選抜」と「学力検査による選抜」の 2 種類の方法で選抜を行っている。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：Web サイトで公開 https://www.ct.omu.ac.jp/about/outline/organization/
--

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	3 人	－					3 人
総合工学システム学科	－	34 人	14 人	9 人	3 人	0 人	60 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
1 人		35 人					36 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://www.ct.omu.ac.jp/studies/teachers/staff/					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
総合工学 システム学科	160 人	161 人	100.6%	820 人	802 人	97.8%	10 人	2 人
合計	160 人	161 人	100.6%	820 人	802 人	97.8%	10 人	2 人
（備考）2024 年度の入学者を最後に専攻科の学生募集を停止、2025 年度で在籍学生全員が修了したため 2026 年度は在籍なし								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
総合工学 システム学科	152 人 (100%)	47 人 (30.9%)	96 人 (63.2%)	9 人 (5.9%)
総合工学 システム専攻	22 人 (100%)	14 人 (63.6%)	8 人 (36.4%)	0 人 (0%)
合計	174 人 (100%)	61 人 (35.0%)	104 人 (59.8%)	9 人 (5.2%)
（主な進学先・就職先）（任意記載事項）				
（備考）				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
総合工学 システム学科	160 人 (100%)	127 人 (79.4%)	16 人 (10%)	17 人 (10.6%)	0 人 (0%)
総合工学 システム専攻	22 人 (100%)	22 人 (100%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
合計	182 人 (100%)	149 人 (81.9%)	16 人 (8.8%)	17 人 (9.3%)	0 人 (0 %)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 大阪公立大学工業高等専門学校のカリキュラムでは、授業科目名、担当教員名、授業の進め方、科目の達成目標、各回の授業内容、成績評価方法、準備学習等についての具体的な指示、教科書・参考文献、履修条件等の情報を示し、Web サイトを通じて公開している。 (https://www.ct.omu.ac.jp/studies/classes/syllabus-reg/) 年間授業計画については、年間行事予定で公開している。 (https://www.ct.omu.ac.jp/campuslife/annualevents/)

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 各授業の学修成果に関する評価の基準はカリキュラムに明示している。 (https://www.ct.omu.ac.jp/studies/classes/syllabus-reg/) 卒業及び修了の認定に関する基準は、学則および評価認定規程に定めている。 (https://www.ct.omu.ac.jp/studies/gradeevaluation/regulations-reg/index.html) 				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
本科	総合工学システム 学科	167 単位	有・無	単位
G P Aの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：公表方法：Web サイトで公開 https://www.ct.omu.ac.jp/about/campus/
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
本科	総合工学 システム 学科	234,600 円	84,600 円	0 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） 学生の経済面に係る指導・相談・助言は、主として担任、学生主事室及び学務課が対応している。高等学校等就学支援金、授業料減免、各種奨学金については、学生便覧や掲示、保護者宛手紙などで学生・保護者へ周知している。 高等学校等就学支援金（本科 1～3 年生対象）については、国の制度においては授業料の保護者負担額 0 円となる。 大阪公立大学・大阪公立大学高専等の授業料等支援制度（本科 4、5 年生）については、国の制度に大阪府独自制度を上乗せし、負担額が減額される。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要）学年ごとの目標と行事を明記した「キャリア教育 5 カ年計画」に基づくキャリア教育を行っている。キャリア教育支援長の指導の下、担任が各クラスの学生を直接的に支援している。3・4 年生に対しては進学説明会や企業研究セミナーを実施しているが、とくに後者は、大阪労働協会等のご支援により、2 日間で延べ百数十社もの企業が体育館にブース出展する一大イベントとなっている。キャリア関連のイベント情報等は学内ネットワークに掲載し、学生がいつでも確認できるようにしている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要）学生の健康管理のため保健室を設置し、4 月に全学生に対して定期健康診断を実施しているほか、学校医と連携し、健康相談・保健指導を定期的に行っている。学生の疾病情報を保健室長が年度ごとに取りまとめ、全教員と情報共有している。とくに注意が必要な学生とは年間を通し本人および保護者と連絡を取っている。 学生の悩みは相談室で対応している。保健室が窓口となってカウンセラー（臨床心理士）への橋渡しを行い、学生相談室長が担任等への情報共有を担当している。 2025 年度から月 1 回ソーシャルワーカーが来校している。学生支援のケース会議等を実施し、学校生活に問題が生じている学生の家庭問題等にまで踏み込んだ支援を行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：Web サイトで公開 https://www.ct.omu.ac.jp/studies/

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。